

3. 果 物



果物屋

マンゴ



日本のサクラのように、
バングラデシュのどこでも
マンゴを見ることができます。
種類が豊富で、6月から8月
にかけておいしいマンゴを
食べられます。



リッチュ(ライチ)

マンゴと同じ時期の果物
です。バングラデシュのど
こにもリッチュの農園が
あって、とてもよいビジネ
スになっています。

ダブ(ココナッツ)



日本人が自動販売機でどこでも冷たい飲み物を飲むように、バングラデシュでは、リキシャバンで売っている人からダブ(ココナッツ)を買って、鎌で割ってもらって天然のジュースを飲みます。エネルギーがわきます。

ジャックフルーツ

農村で、マンゴやリッチュと同じ時期に見ることのできる果物です。ぶつぶつのある固い皮をむくと、甘くて匂いの強いねばねばにまかれた大きなタネがたくさんはいつています。タネのまわりを食べます。タネは捨てずに料理に使います。



ジャンブラー

日本のザボンに似ている大きいミカン。皮をむくと、ピンク色の実がでてきます。風邪をひいているときに食べると、薬になるといわれています。





バナナ

バナナの花が開くと、花の中にいっぱい実がつきます。さらに花が咲き、そこにもいっぱい実がつきます。おもしろいのは、一つの花からいっぱいいっぱいバナナの実ができることです。



ペペ
(パパイヤ)

実が赤くなると、果物としてたべますが、緑のパパイヤは料理に使い、フライやカレーにして食べます。

ペアラ(グァバ)



村の家は、どこでもペアラの木を植えていて、訪ねてきた人に食べてもらいます。街角では、塩とマスタードをまぜて売っています。